

授業科目	整形外科学 リウマチ（講義・演習、演習・実習）（整形外科専門医）（臨床専門医コース）		
取得する専門医の名称	日本整形外科学会 整形外科専門医		
区分・単位	講義・演習 2単位 演習・実習 4単位	関連分野等	膠原病内科
年次・期別	1年次～2年次	曜日・時限	講義・演習 月・火 PM6:00～ 演習・実習 月～金 終日
教室	整形外科学研究室	担当者電話番号	086-235-7273
担当教員	【研究科】教授：尾崎敏文， 【病院】准教授：西田圭一郎		
一般目標	リウマチ性疾患の診断を行い、適切な治療法を選択できる。関節リウマチでは薬物療法による疾患コントロールを基礎とした手術療法の適応、その実践を身につけ、術後リハビリテーションを含めた理学療法を習得し、処方できるように必要な基礎知識を習得する。		
到達目標	1) 適切な問診による病歴採取、理学所見の記載を行い、各種評価法を用いて全身および局所の状態を記録できる。 2) 関節リウマチ患者の血液検査所見との異常をきたす理由、病態を説明できる。 3) 関節リウマチの画像所見（単純X線、CT、MRI）を説明できる。 4) 関節リウマチに対する薬物治療ガイドラインについて説明ができる。 5) NSAID、ステロイド、DMARD、生物学的製剤の使用法、副作用およびその対策について説明できる。 6) 関節リウマチにおける外科的治療の絶対的適応、相対的適応とその種類について説明ができる。 7) 関節リウマチ外科手術（人工関節置換術を含む）における第二、三助手を務めることができる。 8) 関節リウマチ患者の周術期管理（薬剤管理、ステロイドカバー、自己血貯血、輸血、補液、ドレーン管理、手術創管理）が実践できる。 9) 関節リウマチ患者の術後リハビリテーション計画を立て、これを実践することができる。 10) 関節リウマチ患者の生活指導、運動療法について説明ができる。 11) 関節リウマチの各関節に対する装具療法とその適応について説明し、実践できる。		
講義概要	1) リウマチ学診断学講義（講義・演習）（尾崎，西田） 病歴採取の要点、関節所見のとり方、各種評価法の説明、診断および鑑別診断の方法について講義を行う。血液検査所見の見方、対処法についての講義を行う。また、実際の症例にもとづいてX線、CT、MRIの読み方と評価方法を講義する。 2) リウマチの薬物治療講義（講義・演習）（尾崎，西田） NSAID、ステロイド、DMARD、生物学的製剤の使用法、臨床成績、副作用およびその対策について講義する。 3) リウマチの手術療法の適応と実際講義（講義・演習）（尾崎，西田） 関節リウマチに罹患した各関節の病態、進行度にあわせた手術適応、治療成績、術後リハビリテーション、装具療法について講義する。 4) リウマチ外来実習（臨床実習）（尾崎，西田） 患者コミュニケーションを基本とした診察の仕方、薬剤選択、中止、変更の実際、手術適応の決定とインフォームドコンセントの実際を見学する。また外来でできる関節内注入療法等の適応と実際を見学し、実践する。 5) 手術実習（臨床実習）（尾崎，西田） 麻酔、体位の設定、スタンダードプレコーションにもとづく手洗い、消毒、感染対策に加え、手術進入路、組織に対する愛護的操作、軟部組織再建、関節再建（人工関節置換術を含む）の手術の実際を第2、第3助手として経験する。 6) 症例検討会（講義・演習）（尾崎，西田） 毎月第3水曜午後7時からの内科との合同カンファレンスに出席し、薬剤の最新情報を得るとともに問題点、疑問点についてディスカッションする。また、診断・治療に難渋した症例について内科側、整形外科側からの意見を述べ、検討する。 7) 各種セミナー（講義・演習） 不定期に行われる各種セミナーを通じて、全国・世界レベルで活躍する演者の講演を聴講する。ほとんどの場合、教育研修単位を取得できる。 8) 学会参加 日本整形外科学会総会、日本リウマチ学会総会、日本関節症学会参加を基本とし、その他関連地方		

	会に参加、発表者の論理展開を理解し、批判ができる様、研鑽する。自らも大学院修了までに筆頭演者としての発表を行う。また、リウマチ学に欠かせない基礎医学分野として、日本整形外科学会基礎学術集会、日本軟骨代謝学会、日本骨代謝学会、日本炎症・再生学会、海外学会としては米国リウマチ学会、ヨーロッパリウマチ学会、ヨーロッパリウマチ外科会議への演題提出、論文発表を奨励する。
テキスト・参考書等	整形外科学関連の論文、教材を自主的に検索し、最新の知識を習得する。
成績評価基準 成績評価方法	講義・演習への参加状況、診療活動での貢献、および演習・実習での成果を総合的に判断する。
研究活動との 関連	習得した知識・技術を、整形外科学・リウマチ学の臨床研究に応用する。

基礎実習	希望者には随時、パラフィン切片における各種染色（免疫染色を含む）、細胞培養、タンパク質解析（Western blot 法）、mRNA 解析（RT-PCR, real-time PCR など）、動物実験（関節炎モデルマウス、ラットを用いた治療実験など）をおこなえる体制にある。
臨床実習	外来薬物療法、入院による手術治療のすべてのステップに最初から関与し、習得をめざす。患者とのより良いコミュニケーションをとる技術、患者、家族にわかりやすく説明する技術も同時に研修する。
症例検討会	整形外科内での症例検討会は毎週火曜日、木曜日 7:45 から行っており、この場でのプレゼンテーション、治療法に関する論議を行う。内科との合同カンファレンス・症例検討会は毎月第3木曜日に行う。
講義日程	毎月第2木曜日、午後7時から合同カンファレンスにおいて行う。
本年度参加が 望ましい学会 等	アジア太平洋リウマチ会議 日本整形外科学会 第37回日本関節病学会